



Title	写真や図を中心にみる琉球の農作物主要病害虫 (9)
Author(s)	田盛, 正雄
Citation	琉大農家便り(45): 10
Issue Date	1959-08
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/20016">http://hdl.handle.net/20.500.12000/20016</a>
Rights	

# 琉球の農作物主要病害虫

(9)

## 害虫

### バシヨウソウムシ

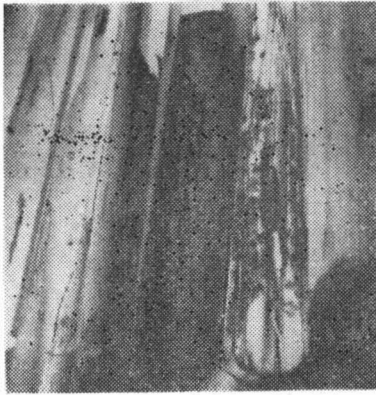
形態 卵はだ円形、又はやや卵形、淡黄白色。

幼虫は紡錘形に近いが後部やや太い。乳白色又は淡黄白色で、頭部赤かつ色、口は黒色、側面及び背面に横しわがある。老熟したもので約一五ミリメートル。

成虫は、だ円形、長さ二一—二四ミリメートル、黒色、胸背は光沢があり、腹背は縦線がある。触角は九節、第二節は最も長く、全体の約半分にあぶ、先端は太いこん棒状を呈す。

加害 ミバシヨウ、リユウキユウバシヨウに寄生し、琉球では年中みられる。

成虫 幼虫ともに多くは地際部の表面近く縦横に穴をあけて加害し、幼株では、幹の心部をも加



害する。このため、寄生多い幼株は萎縮して生育不良となる、特に被害の多いときは枯死する。親株は結実しても倒れやすく、暴風に弱くなる。

### 防除

一、加害を受けた株は除去焼却する。

一、不必要な切株とか、その他の残物を除きバナナ園をきれいにする。

一、本害虫は、株の内部に入り、防除が困難であるので、今後の大きな研究課題の一つである。

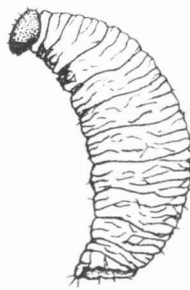
(例えば、ドリソ剤などの試験の結果が期待される)。



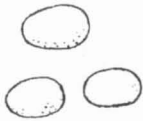
成虫



蛹

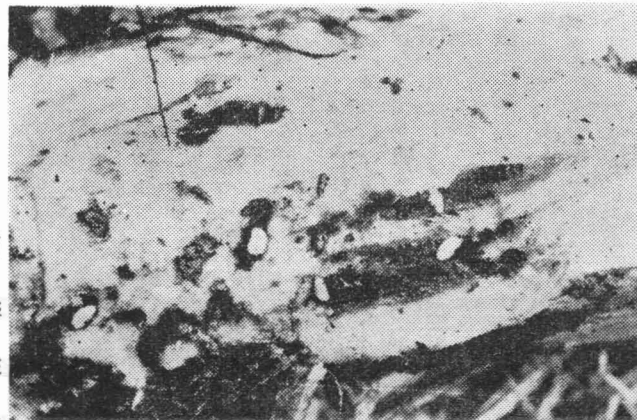


幼虫



卵

上、下、バシヨウソウムシの加害状態中、バシヨウソウムシ



(田盛正雄)

発行所 琉球大学農家政工学部  
発行人 島袋俊一  
印刷 沖繩タイムス社

指令第一九八〇号  
一九五九年七月二五日印刷  
一九五九年八月一日発行